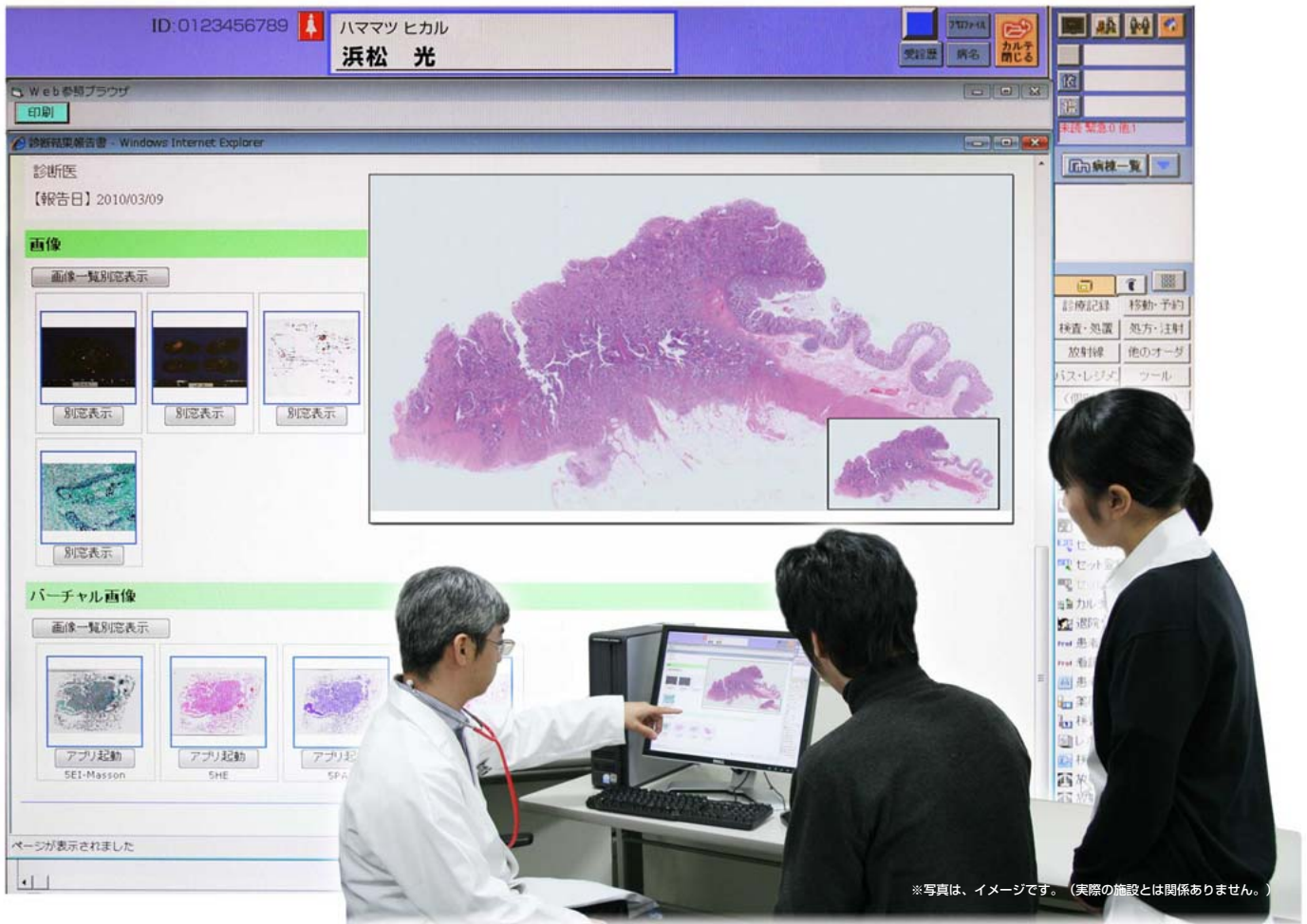
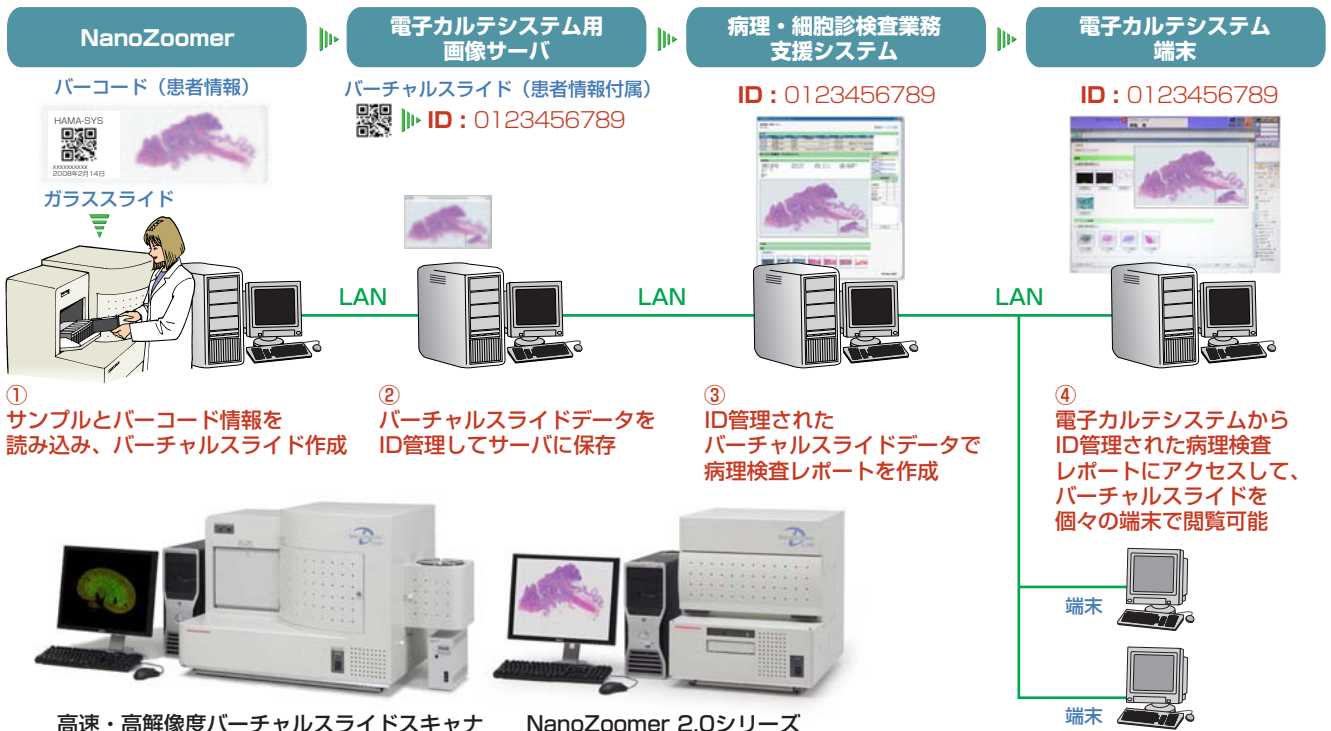


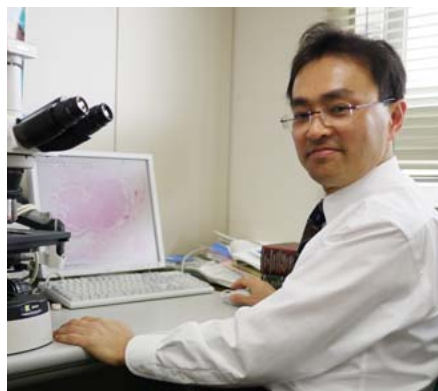
# NanoZoomer 運用実例 紹介

秋田大学医学部附属病院における  
バーチャルスライドと電子カルテシステムの連携



※写真は、イメージです。(実際の施設とは関係ありません。)





□ 先生は、バーチャルスライド装置の導入検討時から電子カルテとの接続を希望されていましたが、実際に運用を始められてのご感想はいかがでしょう？

4年前に思い描いていたことがほぼ実現できました。病棟や外来で、電子カルテからバーチャルスライドを選択すれば、病理画像を詳細に見れるようになり、臨床の先生方だけでなく、患者さんにもきれいな病理画像を提供できるようになりました。しっかりとした病理画像を見ることが診断の信頼につながれば良いと考えています。また、臨床病理カンファレンスにおいても、電子カルテ端末があれば、術前の放射線画像を検討し、外科の先生が手術所見を話され、最後に私が病理診断はこうでした、と話せるようになりました。すべて電子カルテ上でチェックできるので、非常にありがたいですね。

□ どれくらいの台数が接続されているのでしょうか？

院内の百数十台の電子カルテ端末すべてでバーチャルスライド画像が見れるようになりました。画像が良いと評判も高いですね。

□ 実際に患者さんにお見せすることもあるのでしょうか？

臨床の先生から電話がかかってきて、ここがそうですね、と確認されることがあります。患者さんと一緒に見ていらっしゃるそうですね。私の書いた診断書と見比べながら説明されているようです。患者さんにとっても、言葉だけで説明されるよりは、画像を見ながら説明されるほうが理解しやすいでしょう。端末があればどこでも病理画像を確認できるようになりました。

□ バーチャルスライドを使うようになってメリットはございますか？

すぐく見やすいですね。バーチャルスライドだと同じ目線で皆さんと一緒に見れるので議論しやすいですね。逆にいうとすべて見られてしまうので、病理医にとってはある意味プレッシャーですが（笑）。生検に関してはバーチャルスライドでほぼ診断できますね。バーチャルだけで全部済ませるといっわけではありませんが。臨床の先生からも、「バーチャルスライド画像をほしい。」とよく言われますよ。

□ 電子カルテとの接続を実現するうえで、苦労されたことはございますか？

急に接続したいと言いつてもなかなか難しいと思います。大学附属病院においては、医療情報部の先生方のご理解とご協力は不可欠です。今回は電子カルテのバージョンアップの時期で、ようやく実現できました。ナノズームを導入してから4年ほどになりますが、いままでの臨床病理カンファレンスでは、PCにバーチャルスライドを入れてプレゼンテーションしていたので、臨床の先生からも『いつになったら我々にも見せてもらえますか？』と楽しみにされていたのも大きな力になりましたね。今ではPCも何も持たず、各科にある電子カルテ端末にプロジェクターを接続して、バーチャルスライドをお見せできるようになりました。

□ 接続に関して技術的な課題はありましたか？

画像の保存容量に関しては制限されています。バーチャルスライド画像は基本的には各症例1枚を目安にしています。若干、守れていませんが（笑）。動作スピードですが、バーチャルを入れたから他の動きが遅くなったということはないようです。しかし、十分な動作検証は必要だと思います。

□ どのように運用されていらっしゃいますか？

原則、1症例1枚を保存するようにしています。スタッフにスキャンをお願いしているのですが、フルオートではなくセミオートでスキャンするようお願いしています。無駄な部分のスキャンを避けるためです。カセットに入れてスキャンさせれば、あとは自動的に電子カルテに取り込まれ、閲覧できるようになっています。スライドの二次元バーコードと一緒に読み込み、その情報を元に電子カルテ内の患者情報と自動的にリンクされるようになりましたので手間はありません。

□ どれくらいの症例数をデジタル化されているのでしょうか？

1日、30症例程度です。

□ 逆にバーチャルスライドを電子カルテ上でも運用するようになって、何らかのデメリットのようなものはありますか？

デメリットですか？ 今のところ特にはないですね。このような方法は、どんどん広がっていくんじゃないでしょうか。

□ これからの課題は何でしょうか？

究極的にはスライドガラスをいつまで保存しておくのか、ということでしょうか。

□ 4年前は病理の世界では無名だった当社のナノズームをご選択いただけたのはどんな理由からでしょうか？

あまり深く考えていなかったですね（笑）。自分で見て、良いと思ったものを選択させていただきました。ソフトウェアもどんどんバージョンアップしていただけるので、非常に良かったと思っています。

南條先生 貴重なご意見をありがとうございました。

専用情報サイト『<http://jp.hamamatsu.com/sp/sys/ndp.html>』を開設!

NanoZoomer

検索

★ NanoZoomerは、浜松ホトニクス（株）の登録商標です。その他記載商品名・ソフト名は該当商品製造会社の商標または登録商標です。  
★ NanoZoomerは、医療機器ではありません。  
※本カタログの内容は、2010年12月現在のものです。本内容は改良のため予告なく変更することがあります。

## 浜松ホトニクス株式会社

WEB SITE [jp.hamamatsu.com](http://jp.hamamatsu.com)

□ システム営業推進部 〒431-3196 浜松市東区常光町812  
TEL (053)431-0150 FAX (053)433-8031  
E-Mail [sales@sys.hpk.co.jp](mailto:sales@sys.hpk.co.jp)

□ 仙台営業所 TEL (022)267-0121 FAX (022)267-0135  
□ 筑波営業所 TEL (029)847-3821 FAX (029)847-8654  
□ 東京営業所 TEL (03)3436-0491 FAX (03)3433-6997  
□ 中部営業所 TEL (053)459-1112 FAX (053)459-1114  
□ 大阪営業所 TEL (06)6271-0441 FAX (06)6271-0450

Cat.No.SBIS0074J02  
DEC/2010